取扱説明書 ―保管用―

yamada

白熱灯ブラケット

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には組み立て方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれています。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■仕　様

品　番	適合電球
ＢＥ－２１３３	Ｅ１７ クリプトン電球（ホワイト）６０Wまで×１灯
ＢＥ－２１３４	

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の「注意」は、物損および障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は必ず守っていただく事項です。
⃠　このマークのついている説明文は行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠ 警告

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所で使用しないでください。
★感電事故や漏電による火災の原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。
〇補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
〇壁面以外の場所
〇石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
〇樹脂製ボックスカバーへの取り付け
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。
〇凹凸のある面には取り付けないでください。
★いずれの場所も器具の落下による事故、その他の破損やケガの原因となります。

〇サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下によるケガの原因となります。

ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★器具の落下事故、ショートや火災の原因となります。

布や紙などの燃えやすい物で覆ったり、被せたりしないでください。
★過熱してカバーの変形、発煙や発火の原因となります。

器具の改造や構成部品の改造、変更はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠ 注意

この器具は周囲温度５℃～３５℃の環境で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となる場合があります。

この器具はＡＣ100Ｖ専用です。ＡＣ100Ｖ以外の電圧では絶対に使用しないでください。
★火災や感電事故の原因となる場合があります。

ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの異常や火災の原因となります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

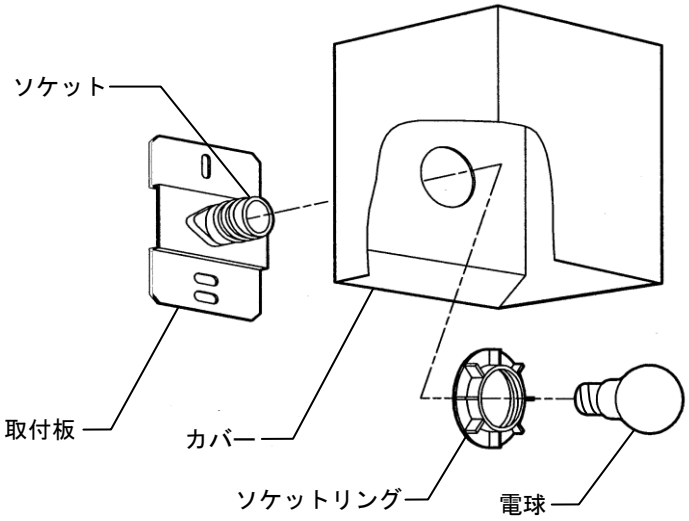
殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

照射（天井）面から 20㎝ 以上離して取り付けてください。
★照射面の変色や火災の原因となります。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品などがあった場合は、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付属品】

座付木ネジ（３８mm）・・・・・・２本

Ｅ１７ クリプトン電球・・６０W×１個

取扱説明書（本書）・・・・・・・・・１枚

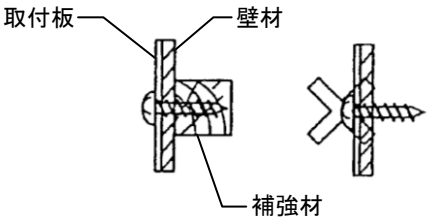
保証とアフターサービスに
ついて（別紙）・・・・・・・・・・・１枚

取り付け場所の確認

⚠ 警告

配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

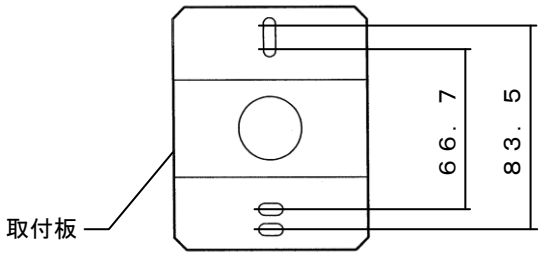
◆ボックスに取り付ける場合は、別途ボックス止め用のネジをご用意ください。



⚠ 注意

建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれに
あります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、
適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

◆ 取り付けピッチ



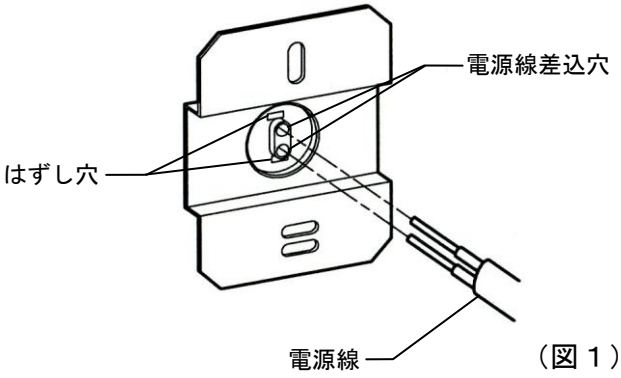
取り付け方

⚠ 注意

必ず電源スイッチを切ってください。
感電事故の原因となります。

⚠ 警告

器具取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となることがあります。



（図１）

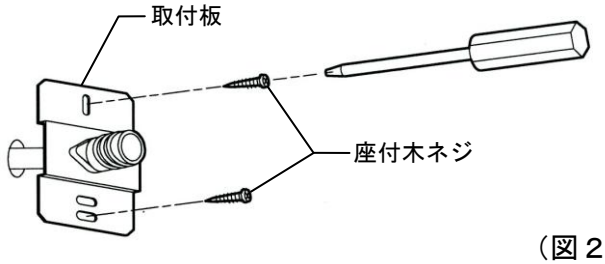
１．電源線を接続します。（図１）

⚠ 警告

ソケットに差し込むケーブルは、ＶＶＦφ１．６またはφ２．０の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

①電源線をソケットのゲージ（１２mm）に合わせて剥きます。
②電源線を差し込み穴に差し込みます。

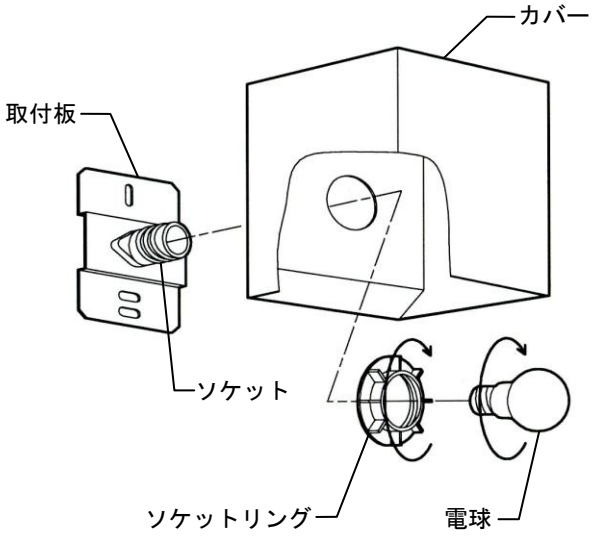
※電源線をはずす場合は、幅６mmのマイナスドライバーをはずし穴へ真っ直ぐ差し込むとはずれます。



（図２）

２．取付板をセットします。（図２）
①付属の座付木ネジで取付板を固定します

３．カバーをセットします。（図３）
①カバーの穴にソケットを通します。
②ソケットリングをソケットのネジ部にねじ込み、カバーを固定します。



（図３）

⚠ 注意

ソケットリングは、必要以上に締め込まないでください。
★カバーの破損や落下事故の原因となります。
ヒビの入ったカバーや、一部欠けているカバーは使用しないでください。
★カバーの落下事故の原因をなります。
カバーの取り付け向きが指定されています。
カバーの向きに注意して、正しい方向に取り付けてください。

４．電球をセットします。（図３）
①カバーの開口部から手を差し入れて、電球をソケットにねじ込みます。

⚠ 注意

電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れ等の事故の原因となります。

スイッチ操作

壁スイッチにて、『ＯＮ－ＯＦＦ』操作を行います。

お手入れについて　⚠ 注意　必ず電源スイッチを切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

電球の交換やお手入れをするときは、必ず電源スイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●電源スイッチを切った直後の電球と器具の内側はたいへん熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
●電球の交換やお手入れは、電球と器具が冷えてから行ってください。　**★火傷の原因となります。**
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

●電球は乱暴に扱わないでください。　**★電球が割れてけがをする恐れがあります。**
●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

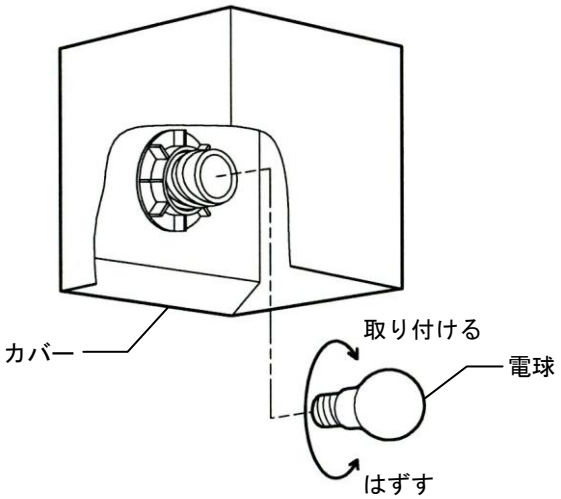
■電球の交換

1．電源スイッチを切ります。

⚠ 注意
電球交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2．電球を交換します。
カバーの開口部から手を差し入れて電球を交換します。

⚠ 注意
電球は乱暴に扱わないでください。
★電球割れ等の事故の原因となります。
カバーにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合は、ただちに新しいカバーに交換してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。



■お手入れのしかたについて

①電源スイッチを切ります。
②中性洗剤入りのぬるま湯に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

⚠ 注意　中性以外の洗剤や揮発性の薬品を使用しないでください。
★セードの変形や破損の原因となります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください。）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。